Ⅳ資金増加額	10,685,696,801	371,870,118		11,057,566,919
Ⅴ資金期首残高	7,362,496,862	1,456,033,423		8,818,530,285
Ⅵ資金期末残高	18,048,193,663	1,827,903,541		19,876,097,204

※調整とは勘定間取引の額であり合計額はその額を相殺した額である。

行政サービス実施コスト計算書

（平成24年４月１日～平成25年３月31日）　（単位：円）

	一般勘定	文献情報提供勘定	調整	合計
Ⅰ　業務費用				
⑴損益計算書上の費用	109,559,325,805	2,896,246,379	△ 314,895,049	112,140,677,135
業務費	104,839,772,643	2,679,744,025	△ 288,191,570	107,231,325,098
一般管理費	2,685,166,379	146,085,980	△ 26,703,479	2,804,548,880
財務費用	84,934	104,689		189,623
臨時損失	2,002,795,934	65,401,200		2,068,197,134
法人税、住民税及び事業税	31,505,915	4,910,485		36,416,400
⑵（控除）自己収入等	△ 4,015,887,583	△ 3,205,825,140	314,895,049	△ 6,906,817,674
科学技術情報売上高	0	△ 3,076,456,750	245,437,847	△ 2,831,018,903
開発成果実施料収入	△ 264,333,110	0		△ 264,333,110
あっせん実施料収入	△ 62,676,778	0		△ 62,676,778
外国人宿舎等収入	△ 150,955,583	0		△ 150,955,583
日本科学未来館入場料等収入	△ 398,721,048	0		△ 398,721,048
免許更新受講料収入	△ 255,000	0		△ 255,000
受託収入	△ 2,560,276,590	0		△ 2,560,276,590
資産見返寄付金戻入	△ 4,995,842	0		△ 4,995,842
財務収益	△ 6,126,465	△ 48,380,341		△ 54,506,806
その他の収入	△ 539,290,526	△ 80,988,049	69,457,202	△ 550,821,373
臨時利益	△ 28,256,641	0		△ 28,256,641
業務費用合計	**105,543,438,222**	**△ 309,578,761**		**105,233,859,461**
Ⅱ　損益外減価償却等相当額	**7,702,728,275**	**0**		**7,702,728,275**
損益外減価償却相当額	6,765,750,886	0		6,765,750,886
損益外除売却差額相当額	936,977,389	0		936,977,389
Ⅲ　損益外減損損失相当額	**1,972,575,407**	**0**		**1,972,575,407**
Ⅳ　引当外賞与見積額	**△ 19,105,169**	**0**		**△ 19,105,169**
Ⅴ　引当外退職給付増加見積額	**198,770,443**	**0**		**198,770,443**
Ⅵ　機会費用	**544,144,198**	**526,827,156**		**1,070,971,354**
政府出資等の機会費用	544,144,198	526,827,156		1,070,971,354
Ⅶ　（控除）法人税等及び国庫納付額	**△ 31,505,915**	**△ 4,910,485**		**△ 36,416,400**
Ⅷ　行政サービス実施コスト	**115,911,045,461**	**212,337,910**		**116,123,383,371**

※調整とは勘定間取引の額であり合計額はその額を相殺した額である。

勘定別の利益の処分（損失の処理）に関する明細

（単位：円）

	一般勘定	文献情報提供勘定	合計
Ⅰ　当期未処分利益（△当期未処理損失）	1,191,101,997	△ 75,510,192,801	△ 74,319,090,804
当期総利益	1,191,101,997	309,578,761	1,500,680,758
前期繰越欠損金	—	△ 75,819,771,562	△ 75,819,771,562
Ⅱ　利益処分額（損失処理額）	1,191,101,997	0	1,191,101,997
積立金	1,167,079,201	0	1,167,079,201
独立行政法人通則法第44条第３項により文部科学大臣の承認を受けた額			
業務充実改善・施設改修等積立金	24,022,796	0	24,022,796
Ⅲ　次期繰越欠損金	0	△ 75,510,192,801	△ 75,510,192,801

注　記　事　項

Ⅰ．重要な会計方針

１．運営費交付金収益の計上基準

業務費については、業務達成基準、一般管理費については、期間進行基準を採用している。

２．減価償却の会計処理方法

⑴　有形固定資産

定額法を採用している。

なお、主な資産の耐用年数は下記のとおりである。

建物	２～50年
構築物	２～60年
機械装置	２～10年
工具器具備品	２～18年

⑵　無形固定資産

定額法を採用している。なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（３～５年）に基づいている。情報資産については、文献情報の提供に利用されるコンテンツについて資産計上し、文献情報の提供可能期間（10年ただし、平成20年３月31日以前に資産計上したものについては５年）に基づいている。

⑶　特定の償却資産

特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示している。